

# 第七回國際道路會議の報告

藤 井 眞 透

道路會議の各國の報告書は二二ヶ國より八二通のものが呈出せられ、現代に於ける各國の道路工學のオンパレードを現出した。

第一議題 セメント舗装に關するものは、

日本、支那、英領印度、獨逸、埃太利、芬蘭、佛國、英國、匈牙利、伊太利、和蘭、波蘭、瑞典、瑞西、濠洲の一五通であつた。

第二議題 瀝青舗装に關するものは、

日本、支那、英領印度、蘭領印度、獨逸、埃太利、佛國、英國、匈牙利、伊太利、和蘭、波蘭、瑞典、瑞西、丁抹、ルクセンブルク、露國、濠洲、埃及の一九通であつた。

第三議題 舗装の選定に關するものは、

日本、支那、英領印度、蘭領印度、獨逸、埃太利、芬蘭、英國、伊太利、和蘭、波蘭、瑞典、瑞西、白耳義、佛領亞弗利加、濠洲の一六通であつた

第四議題 交通整理問題に關するものは、

日本、支那、獨逸、佛國、英國、匈牙利、伊太利、和蘭、波蘭、丁抹の一〇通であつた。

第五議題 路面問題に關するものは、

日本、獨逸、佛國、英國、匈牙利、伊太利、瑞典、白耳義の八通であつた。

第六議題 車輛問題に關するものは、

日本、支那、蘭領印度、獨逸、埃太利、佛國、英國、

匈牙利、伊太利、和蘭、瑞典、丁抹、埃及、濠洲の一  
四通であつた

之を綜合すると次の如し、

六報告を呈出せるもの 日本、獨逸、英國、伊太利

五報告を呈出せるもの 瑞典、和蘭、匈牙利、支那、佛

國

四報告を呈出せるもの 奧太利、濠洲、波蘭

三報告を呈出せるもの 英印、瑞西、丁抹、蘭印

二報告を呈出せるもの 芬蘭、埃及、白耳義

一報のもの 露西亞、ルクセンブルク、佛領

アフリカ

第五議題の綜合報告を書いた獨逸ブラウンスワイグ大學  
のラーベン教授は曾て同市鋪裝試驗場視察に行つた折、大  
學から態々來て案内してくれた人で大學をも訪ふて親しく  
談つた。彼から次の様な手紙が來た。

「道路會議の綜合報告もその内に屆くだらうからゆつくり  
讀んで頂きたい、もし意見があつたら貴君か又は同僚に書

かしてゞも報告の結論のⅠ、Ⅱの一一四、Ⅲの一一九に  
對し何等かの異議を抱るゝか否かを知らして頂きたい、報  
告に重要でなくとも錯誤か又は誤解してゐる意見でも發見さ  
れたら之に關して是非討議をしてほしいと思ひます、御意  
見をまとめらるゝ時間を制限はしませんがなるべく早く御  
返事を頂きたい、そしてもし御異議がなければ深く感謝す  
る所であります、兎に角御返事を頂く迄保留しておきま  
す。」

まだ綜合報告書は到着しないのは遺憾である。

×  
×

×  
×